

みどりみらい ぐんじとしのりの議会報告

2002/06/05 Vol. 99 西の原 2-3-6-104 TEL/FAX 45-8362
E-MAIL ID / toshigunji@hotmail.com

印西市議会/平成 14 年第 2 回定例会が開催されます。

今回の定例会は 6 月 5 日（水曜日）から 21 日（金曜日）まで行われます。

「ぐんじとしのり」は、7 日（金曜日）午前 10 時から、会派まちづくり研究会を代表して、90 分間の代表質問に立ちます。（今回は、「学童保育」、「自治体経営における民間活力の導入」、「牧の原駅圏の将来」の 3 点を質問テーマとします。）（その内容は後述します。）お時間があるかたは、是非とも傍聴にお越しく下さい。

傍聴を希望される方は、印西市役所 5 階にて諸手続きを行い、傍聴券の交付を受け、傍聴を行うこととなります。尚、定員は 36 名です。よろしくお願い致します。

ぐんじとしのり 6 月定例会 代表質問内容

以下の内容を議会事務局に既に提出し、今回の議会で質問に立ちます。

1. 学童保育の充実について

学童保育は、「少子化対策」「仕事と子育ての両立支援対策」からますます必要性が増大している。しかしながら法制化後もまだまだ課題が山積しているのが現状だと考える。

印西市では今後、どのように学童保育の充実を行っていくのか。

- (1) 児童館と学童保育の違いをどのようにとらえているのか？
- (2) 学童保育のニーズを充分把握しているのか
 - (あ) どのような形で市民のニーズを把握しているのか
 - (い) 現状の運営方式を改める計画はあるのか
- (3) 学童保育の充実のためには、指導員の待遇改善が必須、急務であると考えますが、どのように取り組んでいるのか。
 - (あ) 指導員にどのような仕事を求めているのか。
 - (い) 財政保障について
 - (う) 労働条件の向上について
 - (え) 研修の充実、研修体制の確立

2. 自治体戦略経営の推進について

印西市では分権型社会の到来を迎え、自立した戦略的な政策を推進する自治体になることが可能なのか。

- (1) 民間活力の導入について、どのような施策をもっているのか。
 - (あ) 市業務等の民間委託、民間移転の推進は行われているのか。
 - (い) NPO の参入は推進されているのか
- (2) 機械化が可能な事務の「洗い出し」と「整理」は行われているのか。

3. 牧の原駅圏の将来について

- (1) ジョイフル本田が牧の原駅北側に進出することが決定した。
大型店舗が進出することにより、市民生活はどのように変化すると想定しているのか？

- (あ) ジョイフル本田では年間750万人の集客を見込んでいるとのことだが、市としては道路事情改善のために市道整備を急ぐべきではないか。
- (い) 牧の原地区では交通量増加のために環境の悪化も予想される。警察とどのように連携をし、住民の安全を確保するのか。

(2) 都市基盤整備公団では、(仮称)牧の原駅圏活性化研究会の設置が検討されていると聞く。

- (あ) 具体的にどの住区を対象と考えているのか。
- (い) 現在、実際に牧の原地区の居住者の参加は必要だと考えるが、どのような認識をもっているのか。

「印西市議会合併問題研究会」が開催されました。

5月17日(金曜日)に「印西市議会合併研究会」が開催され、今後の進め方について、議員間での意見交換が行われました。(この研究会は今回2回目で、前回は3月に行われ、庁舎内での職員による「庁内研究会報告」がありました。)

当日の研究会では、結論として、議長が市議会の代表として、合併の対象となるであろう1市1町2村*の議長と会い、今後について意見を聞いてみようということになりました。(*平成12年12月に千葉県が策定した「千葉県市町村合併推進要綱」には、印西市は、白井市、栄町、本埜村、印旛村との合併が記載されております。)

~現状、各自治体ではそれぞれが独自に合併についての研究会を開催しているようですが、本埜村の現村長が「合併」を公約に当選したの除き、積極的に動いている自治体はございません。(しかし、印西市に本埜村から「合併を」と持ちかけられたこともありません。) また、印西市議の間でも合併に関しては「できるだけ早く」という考えと、「慎重に検討」という考えがあり、まとまって行動するという空気はありません。そもそも、現在でこそ印西市庁内においては、「庁内研究会」がありますが、この設置は昨年からであり、それ以前は、議会での議員からの一般質問に対しては、市長は、「合併無用論」「相手の出方待た論」を繰り返し、現在でも「市町村合併により印西市はどのように変わるか」といった将来ビジョンを市長は表明しておりません。このままでいいのでしょうか？

現在、市内では一部のミニコミ誌が「合併は推進すべき」というように論じていますが、合併推進の世論は形成されていません。このままで進むと、一部の人達により、一部の考えで、また一方的な報道による誘導が行われ、わけがわからないうちに、いつの間にか合併が進んでいたということになりかねないと思います。

私は現在の市町村合併の進め方には賛成できません。また、市町村合併の理論についても多くの疑問を呈します。(政府はなぜ、市町村合併の推進に熱心なのでしょう？またなぜ、今、市町村合併を急ぐのでしょうか？市町村合併は「究極の行政改革」だというそうですが、関係者にそこまで言わせる背景は何でしょう？) 私は、最初に合併ありきではなく、合併に潜む問題点を明らかにし、その問題点を理解し、市民の自主的な判断で行われるべきではないかと考えます。しかし、そのためには合併に関する情報が正しく住民に提供されなければなりません。(現状では、多くの人達が自分で判断できるような情報提供は、残念ながら行われているとは言えません。)

今回の議会でも多くの議員より、市町村合併についての一般質問が提出されております。今後この紙面にて、市町村合併における情報を一つでも多くお知らせして、皆様と一緒にこの印西市をどのようなまちにしていくかという基本的な方向について考え、結論を出して参りたいと思います。(皆様ご存知の通り、埼玉県上尾市は「さいたま市」との合併を住民投票にて否決しました。このような動きもあることを忘れてはならないと思います。)

いつもご声援、ご支援ありがとうございます。この紙面へのご意見に限らず、市政全般へのご提言、ご批判、皆様からのご相談はいつでも承ります。あるべき市政の姿を求めて皆様と一緒に考えていきたいと思っております。よろしくご意見申し上げます。 ぐんじとしのり